

ふるさと学習と学校行事「立志歩行」の横断的取組 ～生徒、教職員、家庭、地域が共に創意工夫し、主体的に取り組む学校づくり～



学校	学校運営協議会	地域学校協働活動推進員等数 (赤字は内学校運営協議会委員数)	地域学校協働本部
田原市立 福江中学校	福江中学校学校運営協議会 平成31年4月1日 設置	地域学校協働活動推進員 2名 2名 地域コーディネーター 0名 0名	渥盛協働本部



取組の背景及び目標や目指す姿

背景

本校では、中学2年生が自分たちが住んでいる地域を歩いて回る「立志歩行」を実施してきた。中学校の適正配置に伴って校区が広がっており、自分の住む小学校区以外の地域を知るとともに、地域の方々と交流を深める事で地域への関心と理解を深める。

目標や目指す姿(学校)

生徒が地域の人と関わるとともに、自分が住む地域を学ぶ

目標や目指す姿(地域)

創意工夫し、主体的に取り組む地域づくり



福江中学校学校運営協議会 の特徴

委員の立場や属性等

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動推進員 | <input type="checkbox"/> 地域活動団体関係者 |
| <input type="checkbox"/> 学識経験者 | <input type="checkbox"/> 社会教育団体関係者 |
| <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ関係者 | <input type="checkbox"/> 商工会・企業関係者 |
| <input type="checkbox"/> 保護者・PTA関係者 | など、計 15 名で構成 |
| <input type="checkbox"/> 同窓会関係者 | 年間平均 3 回程度開催 |

効果的な運営の工夫

学校運営協議会委員が5つの専門部会に分かれて各々所属し、各部会において活動内容の具体的な協議を行っている。



特徴的な取組と成果・効果

学校運営協議会

上記の取組について、学校、地域学校協働活動推進員、学校運営協議会委員等で具体的な役割分担を明確にし、当日の活動を安全に実施できるように事前の調整を行った。



学校運営協議会の様子

地域学校協働活動

福江中学校区の7コミュニティが安全確保のための交通立番を配置し、PTA関係者の方に中継ポイントでの休憩所を運営していただいた。
また、商工会を窓口として飲食店の協力を得て、昼食に伊良湖岬地区の飲食店を利用させていただいた。



立志歩行

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施」のための工夫等

学校運営協議会委員が学校運営協議会専門部会の構成員を兼ねており、学校の課題や目標を共有していることで具体的な取組に繋がっている。立志歩行の取組の成果を学校通信等を通じて地域に発信し、実績を踏まえての学校と地域の連携に向けた意識の醸成を図っている。

取組

成果・効果

〔指標〕

	指標1	指標2	指標3
	校区コミュニティ協力者数	PTA協力者数	その他協力者数
R2	40人	30人	39人
R3	32人	30人	11人

〔協力者の声〕

7つのコミュニティ協議会の協力を得て、生徒の歩行の安全を見守るボランティアを募集し、40名以上の方の協力を得ることができました。PTAの方と共に生徒が安全に歩行できるように見守りました。(協力者)

行事を通して、生徒と地域の方が交わす心のこもったあいさつなどが見られ、地域と学校が一体となった行事でした。(学校)

- ◆立志歩行参加生徒：地域を歩くことで地域を知るとともに、地域の方々との交流を深める。
- ◆立志歩行協力者：地域の協力者同士の交流及び中学校生徒との交流を通じた地域づくり。
- ◆学校：安全で確実な立志歩行の実施。